

1. 件 名：日本原子力研究開発機構原子力科学研究所及び大洗研究所の
原子力事業者防災訓練の事前説明について
2. 日 時：令和5年12月5日 14:00～16:40
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

澤村防災専門官、武長防災専門職、嶋崎防災専門官、蔦澤防災専門
職

（以下、テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所

足立防災専門官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部 次長 他8名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和6年1月19日に予定されている同法人原子力科学研究所及び大洗研究所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 原子力科学研究所の中期計画は機構本部よりも前の日付で作成されているが、本部の計画と整合性がとれているのか確認すること
- ・ 機構全体の防災に係る人材育成計画を策定すること
- ・ 大洗研の訓練は2部制訓練の形式で実施するので、緊急時の体制構築も確認すること
- ・ 大洗研のシナリオは更に負荷を高める工夫をすること
- ・ 東海地域で同時発災が生じた際の連携の在り方を機構だけにとどまらず近隣施設も含め検討すること

日本原子力研究開発機構から、本日の面談を踏まえ対応する旨の回答

があり、今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と日本原子力研究開発機構の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料1：原子力科学研究所 総合防災訓練に係る5週間面談（日本原子力研究開発機構）

資料2：大洗研究所 総合防災訓練に係る5週間面談（日本原子力研究開発機構）